

社会資本整備総合交付金 事後評価

青森県 県土整備部 港湾空港課

1 青森県の安全で快適な暮らしを支える港湾づくり

事業主体 青森県

計画期間 H22～H24

社会資本整備総合計画の概要

計画の目標

臨港交通施設の整備を促進し、港湾施設の安全性を向上させる。

成果目標

重要港湾の主要幹線臨港道路において、改良工事が必要な橋梁数を0にする。

【H22当初】

2橋(整備率0%)



【H24末】

0橋(整備率100%)



事後評価の結果

事業実績

達成率が100%となっており、当該計画の目標を達成している。

【H24末実績】

0橋(整備率100%)

**目標達成
(達成率100%)**

1 青森県の安全で快適な暮らしを支える港湾づくり

重要港湾の主要幹線臨港道路における、耐震改良及び交通安全対策が必要な橋梁数を0にする。【2橋(整備率0%) ⇒ 0橋(整備率100%)】

【対象事業】

①青森港・青森ベイブリッジ 凍結防止対策

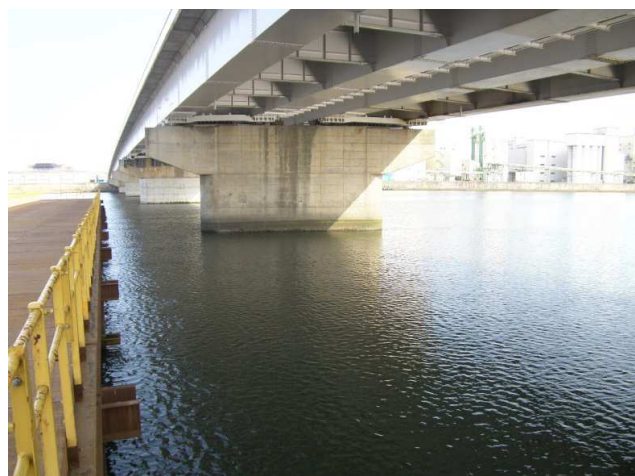


(施工前)



(施工後)

②八戸港・八太郎大橋 耐震改良



(施工前)



(施工後)

1 青森県の安全で快適な暮らしを支える港湾づくり

事業主体 青森県

計画期間 H22~H24

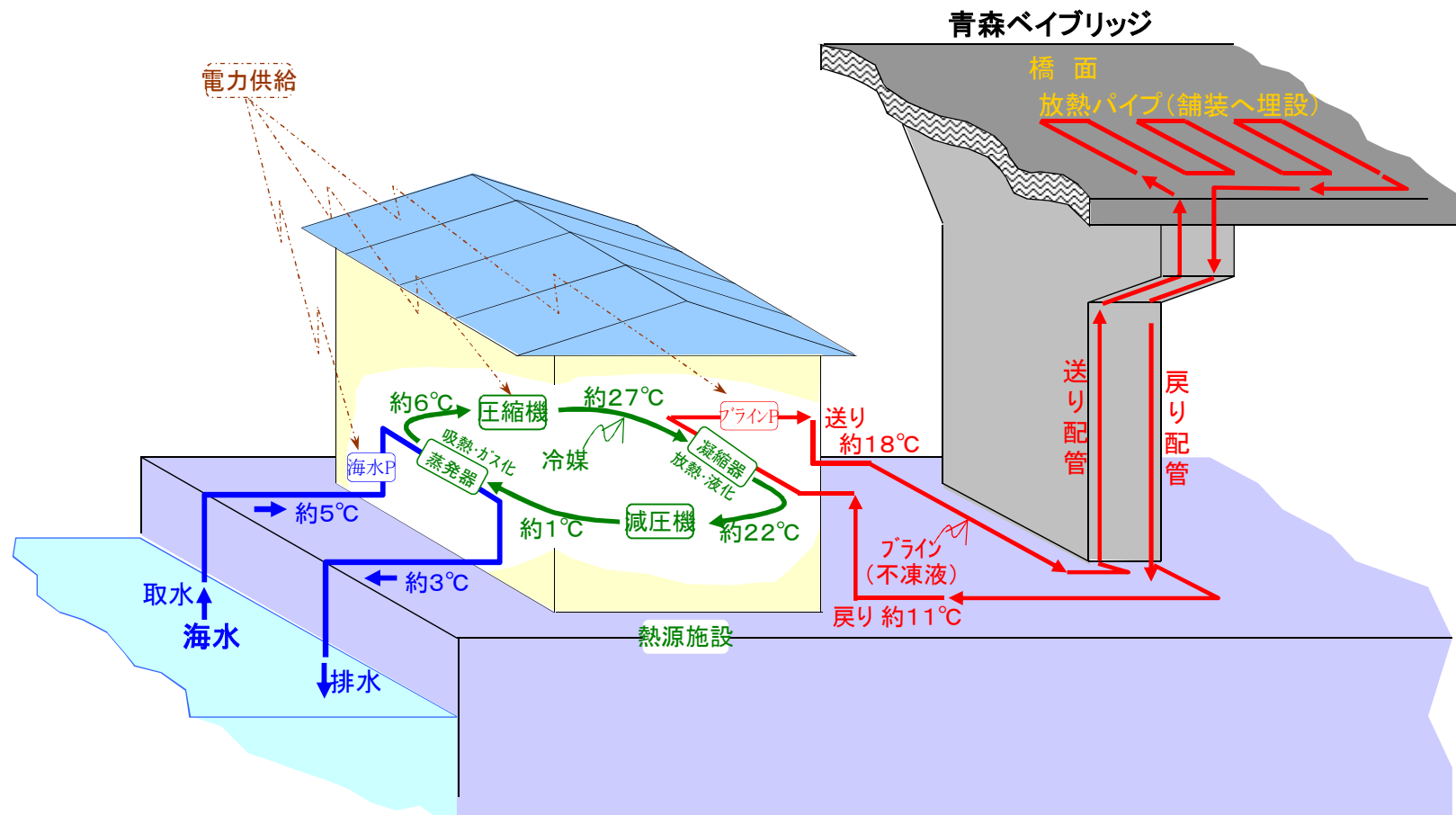
青森港 本港地区 橋梁改良事業

青森ベイブリッジ 融雪施設

【海水熱源ヒートポンプ工法】

凡例

- 海水の流れ
- 冷媒の流れ
- ブライン(不凍液)の流れ



社会資本総合整備計画

平成24年2月10日

計画の名称	1 青森県の安全で快適な暮らしを支える港湾づくり																
計画の期間	平成22年度～平成24年度(3年間)					交付対象	青森県										
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 臨港交通施設の整備を促進し、港湾施設の安全性を向上させる。 																
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 重要港湾の主要幹線臨港道路において、改良工事が必要な橋梁数を0にする。 																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値	備考					
											当初現況値 (H22当初)		中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)			
	耐震改良及び交通安全対策が必要な橋梁数 (改良工事が必要な橋梁数) = (耐震改良が未完了の橋梁数) + (交通安全対策が未完了の橋梁数)										2橋	0橋	0橋				
全体事業費	合計 (A+B+C)	416	百万円	A	416	百万円	B	0	百万円	C	-	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	-			
交付対象事業																	
A1 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	港湾種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
【橋梁改良による臨港交通施設の機能強化】																	
1-A1-1	港湾	内地	青森県	直接	-	重要	改良	臨港道路(橋梁)の凍結防止対策	延長 L=249m	青森港・本港地区						236	『継続』
1-A1-2	港湾	内地	青森県	直接	-	重要	改良	臨港道路(橋梁)の耐震改良	橋梁耐震改良 N=1基	八戸港・八太郎地区						180	『継続』
												小計(港湾事業)			416		
												合計			416		

(参考図面)

計画の名称	1 青森県の安全で快適な暮らしを支える港湾づくり	交付対象	青森県
計画の期間	平成22年度 ~ 平成24年度 (3年間)		

